

故郷になる家



二度の都心部マンション購入を経て、三度目の家づくりをされたK様。子供たちの独立を目前に第二の人生を考えたとき、暮らしの便利さよりも大切にしたいと思った。安曇野の田園に佇むK様邸を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.93



北アルプスの山並みに沿う、南に葺き下ろした大屋根の外観。黒のアクセントカラーで和モダンの趣に。



K様ご家族/ご夫婦と息子さんの3人住まい ※上の娘さんは一人暮らし中
建設地/安曇野市豊科 営業/船田亜美 竣工/H29年3月 IC/田下美由希
敷地面積/96.01坪 プランナー/小川貴司
延床面積/42.57坪 施工/山住和志

楽しくてつい夢中に(笑)。家も、庭も、自分たちの"持ち物"として育むという感覚は、分譲マンションでは味わえなかった魅力です。

ご主人 一人暮らしをしている娘は「この家に帰ってくるのが楽しみ」と言い、息子は「将来、お嫁さんに自慢したくなる家だ」と言ってくれました。家族みんなの大切なホームになったと嬉しく思っています。



土間サロンの脇の和室は、角の柱を無くし建具を引き込んだオープンな空間。土間からごろりと寝転がっても気持ちいい。



家族4人が満場一致で選んだ太鼓梁が、この家の中心。



ご夫婦の寝室は小上がりの畳をベッド代わりに。南側の広縁は、書斎代わりになる落ち着いた空間。



便利なマンション暮らしから戸建てへ移り住んだきっかけは？

ご主人 以前住んでいたのは松本市街地のマンションで、小さな子供と暮らすのに利便性と安心感が魅力で購入しました。オール電化のマンションでとても暖かく快適でしたが、子供の成長につれ手狭になり、戸建てを考えるようになって。個室を持たせてやりたいということ以上に、子供たちの独立を間近に控えて、彼らがいつでも帰ってこられる"ホーム"を作ってあげたい、という思いを強く感じるようになりました。

奥様 それと自分たちの退職後の生活を想像したとき、マンション暮らしでは何も楽しみがないなと思ったんです。残りの人生は、便利さよりも日々の生活に楽しみを見出しながら暮らしたいと思いました。



お引越されてから、暮らしに変化はありますか？

奥様 以前はポーっとしたい時はテレビをつけていましたが、今は一階にテレビを置いていません。冬は薪ストーブの炎を眺めてポーっと、夏は土間サロンで景色を眺めてポーっとするのが定番です(笑)。

ご主人 受験生の息子もこの土間サロンが落ち着くようで、土間に参考書を広げて勉強していることも多いですね。以前は、集中して勉強したい時には外出していたので、生活スタイルはかなり変わりました。

奥様 家族みんな、家に居る時間が格段に長くなりましたね。インテリアでもガーデニングでもやりたいことがたくさんあり、楽しみが尽きません。雑草を抜くことすら



南東に開けた土間サロンからは、山並みをワイドに望める。天気の良い日は、ここで朝食をとることも！



プランナー 小川貴司

長野南展示場のような美しい現しの木組みをご希望だったK様。敷地の間口に制限がある中でも、躍動感ある木組みを楽しみ空間づくりを心掛けました。

Focus on the Owner!!

コロナ調のインテリアスタイルがお好きだったK様。新居は"和モダン"をテーマにしたコーディネートながら、お手持ちの家具との調和も大切にデザイン。サイズもぴったりとはまる空間設計は、注文住宅ならではの。